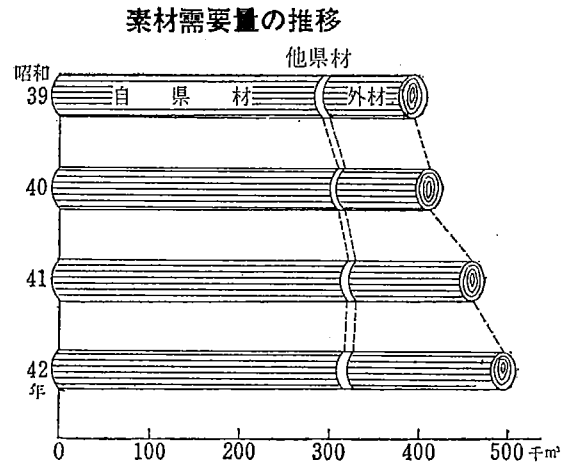


34. 主要林産物の生産と消費

本県の素材生産量は昭和39年を低点として、逐次増加の傾向を示し、42年は僅かながら前年に比し0.6%増となり、その用途別をみると製材用が88.1%と大半を占め、県内製材用消費量の69.4%をまかなっている。素材需要量は前年に比べ、3万㎡6.5%の増加となっておりこの大部分は外材でしめている。

本県の主要林産物である竹材生産量は41年より減産であるが、全国6位を占めている。

(単位 1 000 ㎡)



年	素 材 生 産 量					
	総 数	用 途 別				
		製 材 用	パ ル プ 用	電 柱 用	坑 丸 太 用	そ の 他
昭和 38 年	363	304	34	-	3	22
39	339	284	37	0	1	17
40	353	302	31	0	2	16
41	359	316	26	0	2	15
42	361	318	26	0	1	16
	素 材 需 要 量				製 材 用	
	総 数	自 県 材	他 県 材	外 材	素材消費量	
昭和 38 年	354	47	351	
39	387	287	9	91	377	
40	410	307	5	98	402	
41	461	320	9	132	438	
42	491	321	9	161	458	
	薪 炭 生 産 量			竹 材 生 産 量		
	木 炭	普 通 薪	し ば 薪			
	t	1000束	1000束	束		
昭和 38 年	10 466	1 852	68	540 700		
39	8 239	1 059	68	476 000		
40	5 875	1 089	56	444 900		
41	5 264	1 033	185	484 000		
42	5 271	933	95	393 000		